

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

6月号



学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

達成感

校長 岩崎 健治

紫陽花の花が咲き始め、梅雨の季節を感じる頃となりました。日々、子ども達の元気な姿と笑顔が学校にあふれてきています。晴れた日の休み時間には、校庭に多くの子どもたちが出てボール遊びをしたり、鬼ごっこをしたり、一輪車や竹馬、鉄棒などをして楽しんでいきます。鉄棒で遊ぶ子ども達の中には「見て、見て」と言いながら、新しくできるようになった技を笑顔いっぱいに見せてくれます。そして「これも見て」と技を続けます。できたこと、達成したことの喜びを体一杯に表現し感じています。また、雨の日の休み時間には、図画工作科の時間に造った作品を嬉しそうに見せにくる子もいます。できたこと、できるようになったことを褒めて認めると、「次はこうしてみよう」と笑顔で答えが返ってきます。

子どもたちは日々の学習活動から、様々な場面で、できるようになったこと、やり遂げたことを実感し、生活の中で、できたことの達成感を感じているのではないかと思います。認め、ほめられることで達成感や満足感が大きくふくらみ、つぎへの意欲に結びつき自分の成長を実感するのではないかと思います。

このことが、次にチャレンジしていこうとする気持ちを育てることになるのは間違いのないようです。

仮にうまくいかなかったとしても「大丈夫」「次があるよ」「よく挑戦したね」「またいっしょにやってみよう」という言葉をかけをしていけたら、「またやってみよう」という気持ちになるのではないかと思います。

一つひとつの学びに、達成感をもつことで満ち足りた気持ちになり、こんなことができたこと成長を実感することは、学校生活を楽しく送るためにも大切なことです。

教職員は子どもたちが安心して豊かに学校生活を送り、一人ひとりが成長の実感をもてるよう、子どもたちの変化を見逃さない高い意識をもち、これからも授業改善や子どもの心に寄り添った支援や指導を続けていけるように努めてまいります。コロナ禍の中、安全・安心、健康を第一に考え、様々な場面で、子どもたち一人ひとりが、達成感を得て、満ち足りた気持ちになれるよう、教育活動を続けてまいります。今後ともご家庭、地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、皆様と一緒に子どもたちの成長に向けて努力してまいります。



《校舎裏のアジサイの花》